

教育家庭新聞

2024年(令和6年) 10月7日 月曜日 第2260号

第1月曜日発行

教育マルチメディア号

発行所 〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8 TEL: 03(3864)8241代 FAX: 03(3864)8245 郵便振替口座 1309-53693

紙面案内

令和の日本型学校教育をデジタル学習基盤で支える 「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(答申)が公表され、中教審の考え方を「学校における働き方改革の更なる加速化」「学校の指導・運営体制の充実」「教師の処遇改善」としてまとめた。これを実現する施策のための概要要求も公表された

第50回全日本教育工学研究協議会全国大会 東京都港区大会が10月25・26日に開催される(4面)(写真は昨年度の公開授業)

購読申し込み書 [教育家庭新聞 教育マルチメディア号]購読申し込み書

購読申し込み書(年間12回5760円) お名前、ご職業、ご住所、連絡先、お支払方法

デジタル学習基盤は個別最適な学び協働的な学びに必須

デジタル学習基盤特別委員会第5回は9月30日、これからの学びの前提とされる「学習基盤」についてのこれまでの議論を「デジタル学習基盤に係る現状と課題の整理(案)」にまとめ、さらに追加・留意したい点について討議した。

現時点において次の要素で構成される整理した(1)児童生徒の端末、(2)通信ネットワーク、(3)周辺機器、(4)デジタル教材・学習支援ソフトウェア、(5)CBTシステム(MEX/CBT)、(6)教育データ活用、(7)情報セキュリティ

デジタル学習基盤の構成要素 ①児童生徒の端末 ②通信ネットワーク ③周辺機器 ④デジタル教科書・デジタル教材・学習支援ソフトウェア ⑤CBTシステム(MEX/CBT) ⑥教育データ活用 ⑦情報セキュリティ

全国学テCBT調査スケジュール表 (2024年度、2025年度、2026年度、2027年度、2028年度)

25年度中学校理科26年度中学校英語でCBT 拡大文字やルビふり、時間延長プログラムも

文科省は2027年度より全国学力・学習状況調査をCBT(コンピュータを使用した調査)による実施に全面移行し、2025年度は中学校理科をCBTで行うこととしている。9月26年度以降の予定を追加した。

活用は「特質の理解」が大前提

活用は「特質の理解」が大前提 務で活用する学校、25年度中に50%以上を当分のB/Tとして設定し、26年度は「活用」を最優先とするよう設定されている。

初等中等教育段階における生成AIの活用に関する検討会議では、生成AIの教育利用や業務利用を視野に入れ、「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」改訂を今秋・冬頃に取まとめる。

活用は「特質の理解」が大前提

活用は「特質の理解」が大前提 正しさを自指するものではないためハルシネーション(「あれが正解だ」という根拠のない発言)が発生する可能性がある。

ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集

ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集 設計・施工に児童生徒の参加も

連載 GIGA 端末を活かす! 教員研修 授業活用

40学びのロードマップで自律した学びを支援 佐賀県武雄市 佐賀県武雄市(松尾文雄教育長)は、いち早く1人1台端末環境を整備してICT教育を進めてきた。

ELECOM 教育施設のWi-Fi化 文教向けネットワークアセスメントのご提案

GIGAスクールはNEXT STAGEへ! エレコムで学校現場の課題を解決! エレコム株式会社のソリューションで解決いたします!